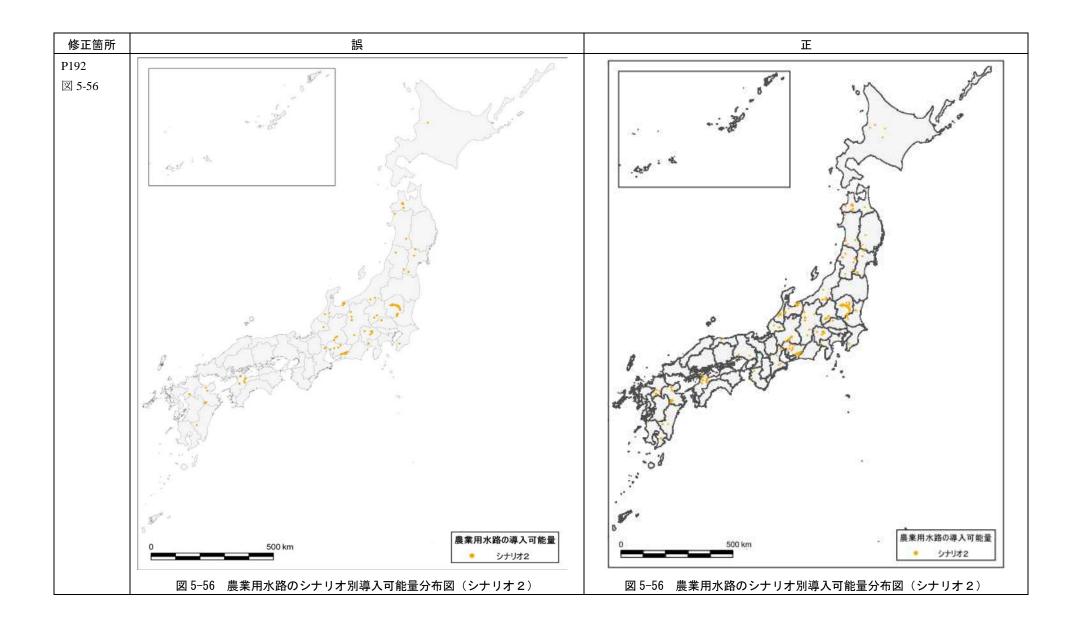
修正箇所				誤						j	Œ						
はじめに	本調査の結果、	非住宅系太	に陽光発電の	の導入ポ	テンシャルは1	.5億kW	1、シナリオ	本調査の結果、	非住宅系太陽	光発電の	導入ポテ	ンシャルに	t 1.5億 k	W、シナリオ			
第4段落	別導入可能量は0	~7,200万	kWとなった	た。風力	発電についてに	は、陸上に	風力と洋上	別導入可能量は0	~7,200 万 k₩	となった	_。風力発	怪電について	ては、陸上	:風力と洋上			
	風力を合わせた導	算入ポテンシ	マルは 19	億 kW、同	司シナリオ別導	入可能量	量は2,400	風力を合わせた導	入ポテンシャ	ルは 19	億 kW、同	同シナリオ別	別導入可能	≦量は 2,400			
	万~4.1億kWとか	よった。中小	小水力発電	(河川部	と農業用水路、	3万 kW	以下)の導	万~4.1億kWとな	さった。中小水	力発電	(河川部と	農業用水路	各、3万 kW	以下)の導			
	入ポテンシャルに	t1,400万k	Vと推計さ	れた。地熱	热発電の導入ポ	テンシャ	アルは1,400	入ポテンシャルは	1,400万kWと	惟計され	た。地熱	発電の導入	ポテンシー	ャルは1,400			
	万 kW、シナリオ別	川導入可能量	量は 110 万	~480 万	kWと推計され	た。これ	らの推計値	万 kW、シナリオ別	導入可能量は	110万~	- <mark>610 万 k</mark> V	<mark>V</mark> と推計され	れた。これ	らの推計値			
	は既開発分を含ん	だ値である	が、既開	発分は事	業採算性以外の)観点で	導入されて	は既開発分を含ん	だ値であるが	、既開発	巻分は事業	採算性以 夕	トの観点て	導入されて			
	いるものもあり、	単純な比較	なはできない	いことに	留意が必要であ	うる。		いるものもあり、単純な比較はできないことに留意が必要である。									
概要版																	
S-9 表	設備容量(万kW)	賦存量		F IT 対応シナリオ		IT+ 助金*2	FIT+技術革 新+補助金* ³	設備容量(万kW)	賦存量 導流 ポラ	入 FI シシャル 対		FIT+技術革 新シナリオ*1	FIT+ 補助金*2	FIT+技術革 新+補助金* ³			
(英語版も	熱水資源開発(150℃~		640	51~410	450	150~430	460	熱水資源開発(150℃		640	52~540	- P 1 - 7 - 7 - 1	200~560	580			
同様の修	同(53~150°C)	960	780	0	0	0	0	0 同(53~150°C) 960 780 0 0									
正)	温泉発電*4	(72)	(72)	57~68	72			温泉発電*4 (72) (72) 57~68 72									
	合計	3,300	1,400	110~480	520	150~430	460	合計	3,300	1,400	110~610	650	200~560	580			
概要版			NA6 10			,				336.00	. 0						
S-10 表			導入ポラ		FIT対応シナリ						t°テンシャル						
(英語版も		北電力管内	350万		20万~100万kV				東北電力管内)万kW	20万~13					
同様の修	東	京電力管内	140万	īkW	0万~22万kW				東京電力管内	140)万kW	0万~22	2万kW				
正)																	
概要版	また、上表のF	IT 対応シナ	「リオは、	設備稼働	率を 75%と			また、上表の FIT 対応シナリオは、設備稼働率を 75%と									
S-10 文章	仮定すると、							仮定すると、									
(英語版も	東北電力管内:	. –						東北電力管内: 13~ <mark>85</mark> 億 kWh /年									
同様の修	東京電力管内:		Wh /年					東京電力管内:		/年							
正)	の発電電力量に相	当する。						の発電電力量に相	当する。								



修正箇所				誤											
P204	熱水資源	原開発のシナリオ	別導入可能量	は、蒸気フラッシ	ュ発電を基本として推計										
第2段落	した。結界	早としては、150°	℃以上に関し	て、基本シナリオ	l では51万~408万kW、										
	シナリオ2では446万kWと推計された。150℃未満の温度区分については基本シブ														
	リオではも	ゼロとなったが、	これら低温域	のポテンシャルに	対しては、掘削井の管理										
	等を除外し	た参考シナリオ	を新たに設定	ぎしたところ、参考	値として、120℃~150℃										
	では 0.09	万~0.24万kW /	ごが、53~120°	Cでは 433 万~745	万 kW 程度の導入可能量										
	が推計され	ぃた。また、掘削	を行わない温	泉発電のシナリオ	別導入可能量は、基本シ										
	ナリオ1つ	ごは 57 万~68 万	k W、基本シ	ナリオ2では72万	kW程度と推計された。										
P251		表 6-17 地熱	発電に関する	シナリオ別導入可	能量推計条件										
表 6-17	区分	設定項目	適用	設定値 or 設定式	設定根拠等										
衣 0-17	主要事業	設備容量	共通	当該地点の資源密度	半径1.5km以内の地熱資源を										
	超元 収入計画	□	シナリオ 1-1	×1.5km×1.5km×π 15円/kWh	対象とする。										
	以八百世	1 光电平温	シナリオ 1-2,	15 円 / kWh 20 円 / kWh											
			1-3, シナリオ 2	20 / 3/ 18/11											
	支出計画	人件費	共通	1,200 万円/人	NEDO「H13 地熱開発促進調査」										

熱水資源開発のシナリオ別導入可能量は、蒸気フラッシュ発電を基本として推計した。結果としては、150[°]C以上に関して、基本シナリオ1 では 52 万 \sim 537 万 kW、シナリオ2 では 573 万 kW と推計された。150[°]C未満の温度区分については基本シナリオではゼロとなったが、これら低温域のポテンシャルに対しては、掘削井の管理等を除外した参考シナリオを新たに設定したところ、参考値として、120[°]C \sim 150 °C では 0.09 万 \sim 0. 24 万 kW だが、53 \sim 120 °C では 433 万 \sim 745 万 kW 程度の導入可能量が推計された。また、掘削を行わない温泉発電のシナリオ別導入可能量は、基本シナリオ1 では 57 万 \sim 68 万 kW、基本シナリオ2 では 72 万 kW 程度と推計された。

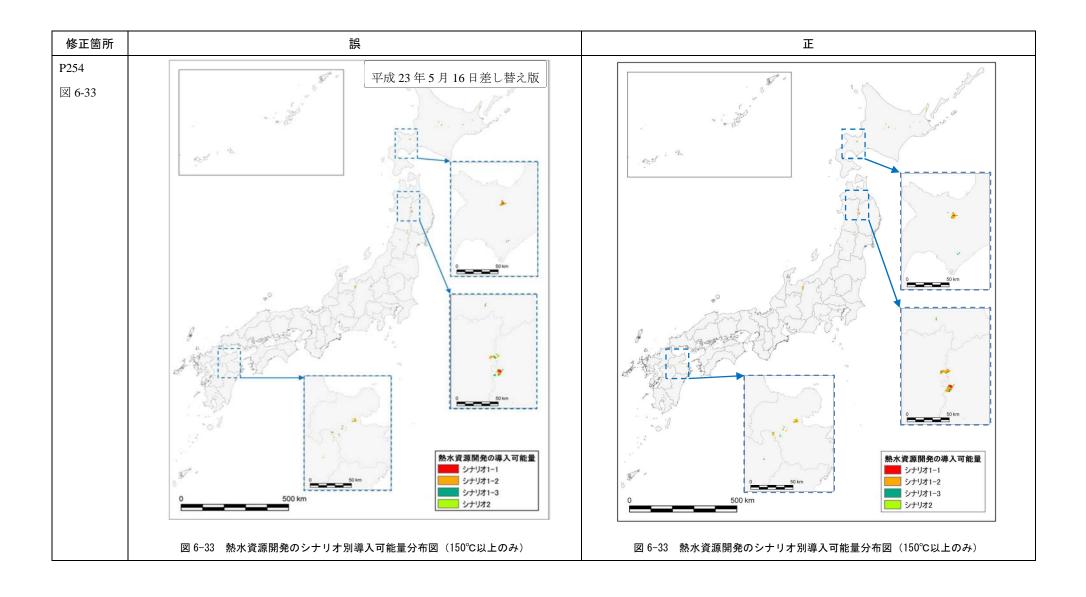
正

区分	設定項目	適用	設定値 or 設定式	設定根拠等
主要事業	設備容量	共通	当該地点の資源密度	半径1.5km以内の地熱資源を
諸元			$\times 1.5$ km $\times 1.5$ km $\times \pi$	対象とする。
収入計画	売電単価	シナリオ 1-1	15 円/kWh	
		シナリオ 1-2,	20 円/kWh	
		1-3, シナリオ 2		
支出計画	人件費	共通	1,200 万円/人	NEDO「H13 地熱開発促進調査」
	修繕費	共通	建設費**×(0.23×年	II .
			次+1.63)	本調査では8年次の値を一律
				とする。
	諸経費	共通	建設費**×0.29%	NEDO 調査より
	一般管理費	共通	(人件費+修繕費+諸	NEDO 調査より
			経費)×21.6%	
	その他経費	共通	1,000 万円 (一律)	NEDO 調査より
資金計画	自己資本比率	共通	25%	
	借入金比率	共通	75%	金利 4%、固定金利 15 年
				元利均等返済
減価償却	地熱資源調査費	共通	5年	定額法、残存0%
計画	掘削費	共通	10年	定額法、残存10%
	基礎費	共通	30年	定額法、残存10%
	基地間道路、道	共通	36年	定額法、残存10%
	路敷設費、送電			
	線敷設費			
	輸送管設置費	共通	8年	定額法、残存10%
	発電施設費	共通	17年	定額法、残存10%
	開業費	共通	5年	定額法、残存0%
その他の	固定資産税率	共通	1.4%	減価償却による評価額の逓
条件				減を考慮
	法人税率	共通	30%	
	法人住民税	共通	17.3%	都道府県 5%、市町村 12.3%
	事業税	共通	1. 267%	収入課税

表 6-17 地熱発電に関するシナリオ別導入可能量推計条件

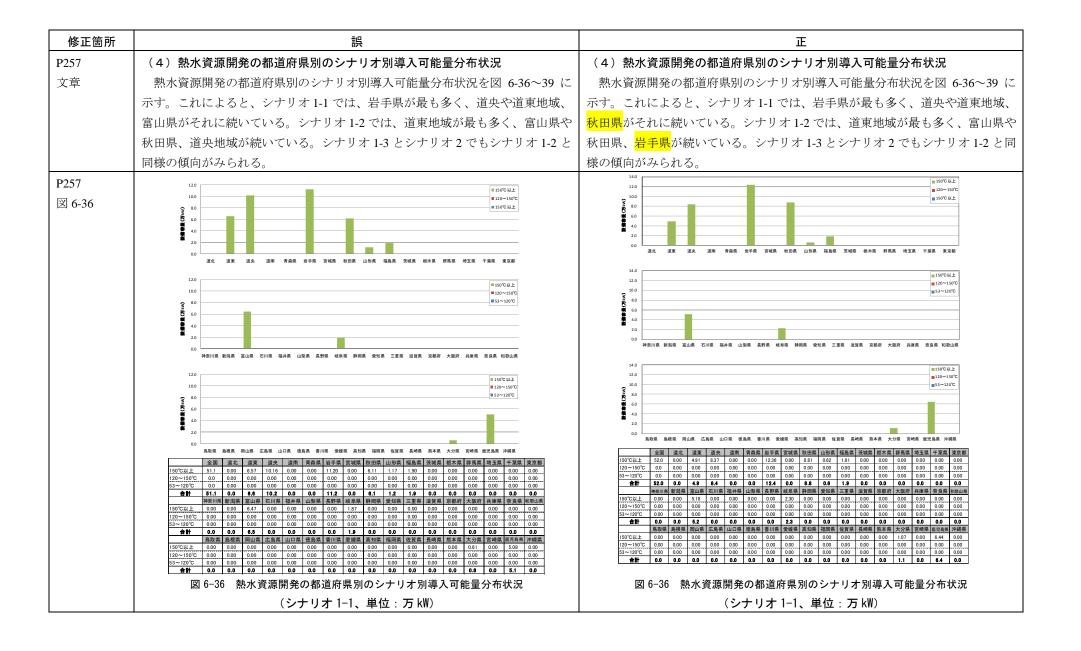
	区分	設定項目	適用	設定値 or 設定式	設定根拠等
-	主要事業	設備容量	共通	当該地点の資源密度	半径1.5km以内の地熱資源を
	諸元			\times 1.5km \times 1.5km \times π	対象とする。
1	収入計画	売電単価	シナリオ 1-1	15 円/kWh	
			シナリオ 1-2,	20 円/kWh	
			1-3, シナリオ 2		
7	支出計画	人件費	共通	1,200 万円/人	NEDO「H13 地熱開発促進調査」
		修繕費	共通	建設費**×(0.23×年	II .
				次+1.63)%	本調査では8年次の値を一律
					とする。
		諸経費	共通	建設費**×0.29%	NEDO 調査より
		一般管理費	共通	(人件費+修繕費+諸	NEDO 調査より
				経費)×21.6%	
		その他経費	共通	1,000 万円 (一律)	NEDO 調査より
Ì	資金計画	自己資本比率	共通	25%	
		借入金比率	共通	75%	金利 4%、固定金利 15 年
	h 1 - 66-1				元利均等返済
i	咸価償却	地熱資源調査費	共通	5年	定額法、残存0%
	計画	掘削費	共通	10 年	定額法、残存10%
		基礎費	共通	30 年	定額法、残存10%
		基地間道路、道	共通	36 年	定額法、残存10%
		路敷設費、送電			
		線敷設費			
		輸送管設置費	共通	8年	定額法、残存10%
		発電施設費	共通	17 年	定額法、残存10%
		開業費	共通	5年	定額法、残存0%
- 2	その他の	固定資産税率	共通	1.4%	減価償却による評価額の逓
	条件				減を考慮
		法人税率	共通	30%	
		法人住民税	共通	17. 3%	都道府県 5%、市町村 12.3%
		事業税	共通	1. 267%	収入課税

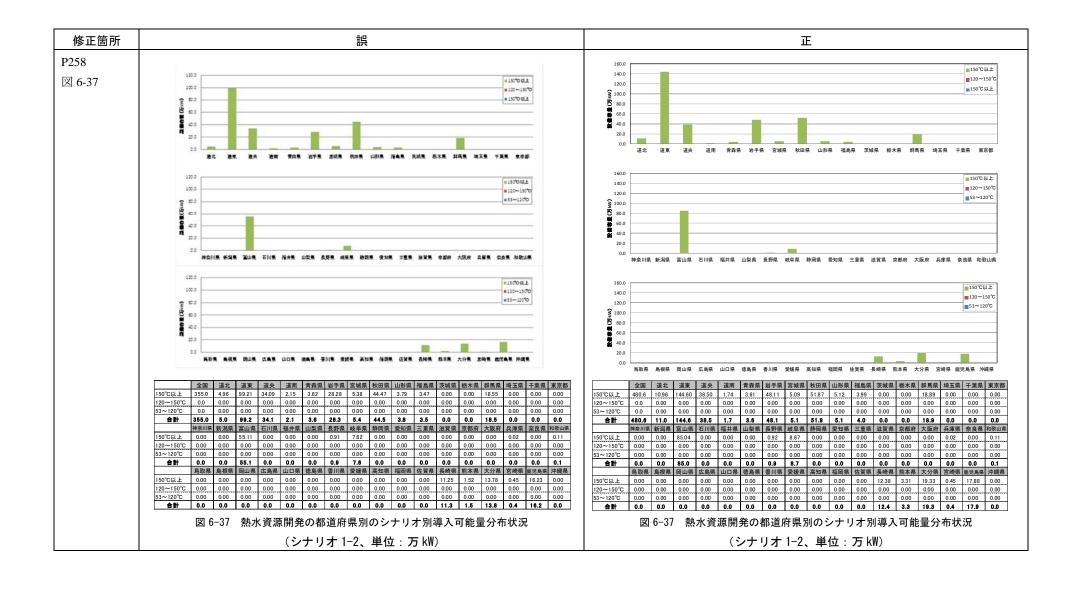
修正箇所				誤					正	
P253		表 6-18 温泉	発電に関する	ンナリオ別導入可能	 :量の推計条件	:	表 6-18 温泉	発電に関する	ンナリオ別導入可能	量の推計条件
±	区分	設定項目	適用	設定値 or 設定式	設定根拠等	区分	設定項目	適用	設定値 or 設定式	設定根拠等
表 6-18	主要事業緒元	設備容量	共通	当該地点の設備容量	図 6-30 に対応 設備利用率は 90%とする	主要事業 緒元	設備容量	共通	当該地点の設備容量	図 6-30 に対応 設備利用率は 90%とする
	初期投資 額	発電設備費	共通	-72.98×1n(設備容 量)+834.36	欄外に記入	初期投資 額	発電設備費	共通	-72.98×1n(設備容 量)+834.36	欄外に記入
	i	送電線費	共通	200 万円	ヒアリングより		送電線費	共通	200 万円	ヒアリングより
		配湯管	共通	160 万円	ヒアリングより 8万円×200m		配湯管	共通	160 万円	ヒアリングより 8 千円×200m
	収入計画	売電単価	シナリオ 1-1	15 円/kWh		収入計画	売電単価	シナリオ 1-1	15 円/kWh	
			シナリオ 1-2, 1-3 シナリオ 2	20 円/kWh				シナリオ 1-2, 1-3 シナリオ 2	20 円/kWh	
	支出計画	人件費	300kW 未満	60 万円/年	第3種電気主任技術者外部 委託	支出計画	人件費	300kW 未満	60 万円/年	第3種電気主任技術者外部 委託
			300kW以上	810 万円/年	第3種電気主任技術者外部 委託(60万円)+第2種BT技 術者(750万円)			300kW以上	810 万円/年	第3種電気主任技術者外部 委託(60万円)+第2種BT技 術者(750万円)
		修繕費	共通	建設費×3%	ヒアリング結果をベースに 簡略化して設定		修繕費	共通	建設費×3%	ヒアリング結果をベースに 簡略化して設定
		諸経費	共通	建設費×0.46%	ヒアリングより		諸経費	共通	建設費×0.46%	ヒアリングより
	資金計画	自己資本比率	共通	25%		資金計画	自己資本比率	共通	25%	
		借入金比率	共通	75%	金利 4%、固定金利 15 年 元利均等返済		借入金比率	共通	75%	金利 4%、固定金利 15 年 元利均等返済
	減価償却	発電設備費	共通	17年	定額法、残存10%	減価償却	発電設備費	共通	17年	定額法、残存 10%
	計画	送電設備費	共通	36年	定額法、残存10%	計画	送電設備費	共通	36年	定額法、残存 10%
		配湯管	共通	8年	定額法、残存10%		配湯管	共通	8年	定額法、残存 10%
	その他の 条件	固定資産税率	共通	1.4%	減価償却による評価額の逓 減を考慮	その他の 条件	固定資産税率	共通	1.4%	減価償却による評価額の逓 減を考慮
		法人税率	共通	30%			法人税率	共通	30%	
		法人住民税	共通	17.3%	都道府県 5%、市町村 12.3%		法人住民税	共通	17.3%	都道府県 5%、市町村 12.3%
		事業税	共通	1. 267%	収入課税	1 1	事業税	共通	1. 267%	収入課税

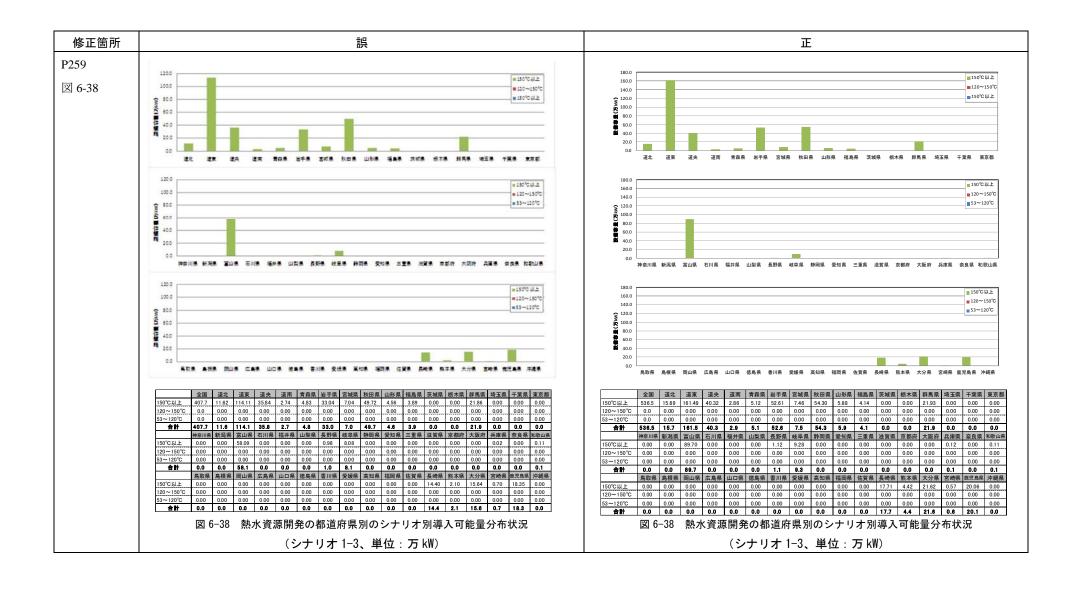


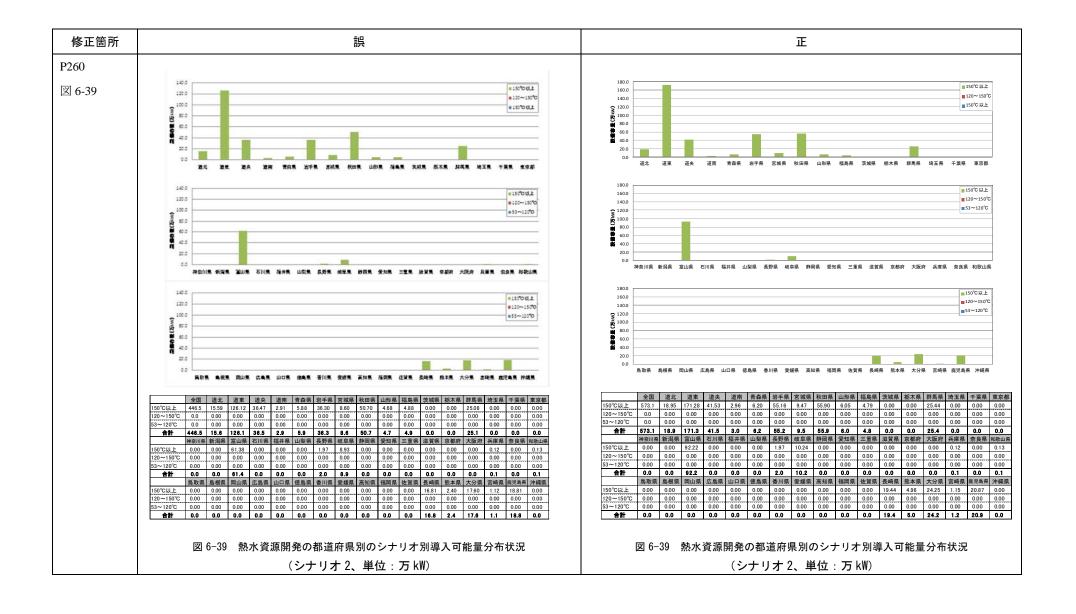
修正箇所				誤				正								
P255	(2)熱水資	資源開発のシ	ナリオ別導力	人可能量集計	結果			(2)熱水資	資源開発のシナ	トリオ別導入で	可能量集計結	果				
文章	熱水資源	昇発のシナリ	才別導入可能	ド量の集計結	果を表 6-19	、図 6-34 に	示す。こ	熱水資源開	昇発のシナリス	计别導入可能	量の集計結果	を表 6-19、図] 6-34 に示す。			
	れによると	「150℃以上」	の温度区分	以外ではシブ	ナリオ別導刀	「可能量は表	出しなか	これによると	: 「150℃以上	」の温度区分)以外ではシュ	ナリオ別導入	可能量は表出し			
	った。150℃	以上について	ては、シナリ	オ 1-1 では :	51万 kW、	シナリオ 1-2	では 355	なかった。1	50℃以上につ	いては、シナ	リオ 1-1 でに	は <mark>52 万 kW</mark> 、	シナリオ 1-2 で			
	万kW、シナ	-リオ 1-3 でに	は 408 万 kW	、シナリオ2	2では446フ	ī kW が見込	まれる結	は <mark>481万kW</mark>	、シナリオ 1-	3 では <mark>537 万</mark>	kW、シナリ:	オ2では <mark>573</mark>	<mark>万 kW</mark> が見込ま			
	果となった。	これらは導	入ポテンシュ	アルの8%、5	6%、64%、	70%に相当す	ける。	れる結果となった。これらは導入ポテンシャルの 8%、 <mark>76%</mark> 、 <mark>84%</mark> 、 <mark>90%</mark> に木								
								る。								
P255	表 6	-19 熱水資源	原開発のシナリ	才別導入可能:	量集計結果(単位:万 kW)		表 6-	19 熱水資源開	発のシナリオ別	削導入可能量集	計結果(単位:	: 万 kW)			
表 6-19	温度区分		シナリオ 1		シナリオ 2	参考:	1	温度区分)	シナリオ 1	1101	シナリオ 2	参考:			
	150℃以上	シナリオ 1-1 51	シナリオ 1-2 355	シナリオ 1-3		導入ポテンシャル		150℃以上	シナリオ 1-1 52	シナリオ 1-2	シナリオ 1-3	573	導入ポテンシャル 636			
	120 ~	51 該当なし	300 該当なし	408 該当なし	446 該当なし	636		120 ~	該当なし	該当なし		該当なし	33			
	150°C 53∼120°C	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	751		150°C 53∼120°C	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	751			
	合計	51	355	408	446	1, 419		合計	pg 当な C 52	481	537	573	1, 419			
	<u> </u>			<u> </u>			Į.		02	101	001	0.0	1, 110			
P255	1,600						7	1,600	T							
図 6-34	1,400		℃以上 150°0					1,400	150°C							
	1,200	53~	~150℃ ~120℃					1,200	120~ 53~1							
	1,000 中 800 中 800 中 600	■合計	†					(N) 1,000	■合計							
	8 00 ★							E 800					_			
	数 概 600					_		報 事 800 800 600								
	400				_			2 400								
	200							200								
	0							0								
		シナリオ1-1	シナリオ1-2	シナリオ1-3	シナリオ2	導入ポテンシャル	,	-	シナリオ1-1	シナリオ1-2	シナリオ1-3	シナリオ2 導え	入ポテンシャル			
		図 6-34	熱水資源開発の	のシナリオ別導	算入可能量集 第	計結果			図 6-34 熱	水資源開発のシ	ナリオ別導入	可能量集計結果	<u> </u>			

修正箇所	誤 (3)熱水資源開発の電力供給エリア別のシナリオ別導入可能量分布状況															正 (3)熱水資源開発の電力供給エリア別のシナリオ別導入可能量分布状況												
P256	(3)	熱水資源	原開発の電	②力供	共給エ	リア	別の	シナ	・リオ	別導	入可	能量	分布	状況	(3)	熱水資	資源開発の	電力)供給	エリ	ア別の	のシナ	-リオ	別導	入可	「能量	分布	状況
文章	熱水	資源開系	その電力は	共給エ	ニリア	別の	シナ	リオ	別導	入可	「能量	分布	5状況	を図 6-35 に	熱	水資源	開発の電力	り供給	合エリ	ア別	のシ	ナリス	オ別導	算入す	可能量	量分れ	乍 状汚	兄を図
	 示す。	導入可能	と量はシブ	トリオ	1-1	では	東北	エリ	アが	20	万 kV	vで	最も	多く、シナリ	に示	す。導え	人可能量に	まシブ	トリオ	1-1	ではタ	東北エ	ニリア	が 2	4万	kW	で最	も多く
														V と突出して			1-3、2で											
	いる。	15, 2	C 100 101A	~=	, , ,	V 11	0 /3	11 11 1	10.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	.,,	101	,5 R,	, сущо (ている。	15, 2	100.1	114/5		/~ <mark>-</mark>	. 70 / 7	11.11		<i>y</i>		200 ,	/J II ! !
P256	1 30										щС																	
		500 450 mシナリオ1-1								1		600										■シナ	リオ1-1					
図 6-35		450	1													500											リオ1-2	-
		400 350 350 350 350										~ 400											リオ1-3					
		350									(A400 (A)(A) (A)(A) (A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(A)(■シナ	7/1/2						
		5 250											(0.000 -			神 300												
		(N) 300 — (M) 250 — (体) 200 —														≅ 200												
		150	11-3											-		100		Ι.										
		100	-	-	_											100												
		50														0			Ц.		.		-	-				
		50	全国 北海道	東北	東京	北陸	ф.	AR FU	, 175 c	, be	四国	7.60	· 中华			0	全国北海	再道 勇	東北東	京北	. 陸 「	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄	
		50	全国 北海道			1					四国	九州	沖縄			シナリオ	全国 北海温度区分	垂道 東 全国	東北 東 北海道		、陸 「東京						沖縄	沖縄
		シナリオ	温度区分	全国	北海道	東北	東京	部 獎		関西		九州四国	-	冲縄					1									沖縄
		シナリオ	温度区分			東北 20		北陸		関西 0			-	冲縄		シナリオ	温度区分	全国	北海道	東北		北陸	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄 0 -
		シナリオ	温度区分 150℃以上 120~150℃	全国	北海道 17 -	東北 20 -	東京 0 -	北陸 6 —			中国		-	中縄 0 —		シナリオ	温度区分 150℃以上	全国	北海道	東北		北陸	中部	関西	中国	四国	九州	沖縄 0 - -
		シナリオ	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃	全国 51 -	北海道 17 —	東北 20 -	東京 0 -	北陸 6 -	中部 2 - -	関西 0 -	中国 0 - -	0 —	九州 6			シナリオ	温度区分 150℃以上 120~150℃	全国	北海道 13	東北		北陸 5 —	中部	関西	中国	四国	九州	ル 神縄 0 - -
		シナリオ シナリオ 1-1	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上	全国	北海道 17 -	東北 20 -	東京 0 -	北陸 6 —		関西 0	中国		九州 6	沖縄 0 0		シナリオ	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃	全国 52 -	北海道 13 - -	東北 24 -	東京 0 -	北陸 5 -	中部 2 - -	関西 0 -	中国 0 - -	0 —	九州 8 - -	沖縄 0 - 0
		シナリオ シナリオ 1-1	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃	全国 51 -	北海道 17 —	東北 20 - - 89	東京 0 -	北陸 6 - - 55	中部 2 - -	関西 0 -	中国 0 - -	0 —	九州 6	沖縄 0 - - 0		シナリオ	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上	全国 52 -	北海道 13 - -	東北 24 -	東京 0 -	北陸 5 - - 85	中部 2 - -	関西 0 -	中国 0 - -	0 —	九州 8 - -	沖縄 0 - - 0
		シナリオ シナリオ 1-1	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃	全国 51 355	北海道 17 — — — — — —	東北 20 - - - 89 -	東京 0 - - 19 -	北陸 6 - - 55 -	中部 2 - -	関西 0 - - 0 -	中国 0 - -	四国 0 - - 0 -	九州 ; 6 — — — — — — — — — — — — — — — — — — —	沖縄 0 - - 0 -		シナリオ	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃	全国 52 - - 481	北海道 13 196 -	東北 24 -	東京 0 -	北陸 5 - - 85	中部 2 - -	関西 0 -	中国 0 - -	四国 0 - - 0 -	九州 8 - -	神縄 0 - 0 - 0 -
		○ シナリオ 1-1 シナリオ 1-2	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上	全国 51 -	北海道 17 —	東北 20 - - 89	東京 0 -	北陸 6 - - 55	中部 2 - - 9 -	関西 0 -	中国 0 - -	0 —	九州 6	沖縄 0 - - 0 - - 0		シナリオ 1-1 シナリオ 1-2	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃	全国 52 - - 481 -	北海道 13 196	東北 24 - - 118 -	東京 0 - - 19 -	北陸 5 - - 85 -	中部 2 - - 10 -	関西 0 - - 0	中国 0 - - 0 -	四国 0 - - 0 -	九州 8 - - 53 -	神縄 0 - 0 - 0 - 0
		○ シナリオ 1-1 シナリオ 1-2	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃	全国 51 355 408	北海道 17 - - 140 - - 164	東北 20 - - 89 - - 103	東京 0 - 19 - - 22	北陸 6 - - 55 - - 58	中部 2 - - 9 - - 9	関西 0 - - 0 - -	中国 0 - -	四国 0 - - 0 -	九州 i 6 43 51	神組 0 0 0 		シナリオ 1-1 シナリオ 1-2	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上	全国 52 - 481 - - 537	北海道 13 196	東北 24 - - 118 -	東京 0 - - 19 -	北陸 5 - - 85 - - 90	中部 2 - - 10 -	関西 0 - - 0	中国 0 - - 0 -	四国 0 - - 0 -	九州 8 - - 53 -	沖縄 0 - 0 - 0 - 0
		○ シナリオ 1-1 シナリオ 1-2	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上	全国 51 355 408 	北海道 17 - - 140 - - 164	東北 20 - 89 - 103 -	東京 0 - 19 - - 22 -	北陸 6 - - 55 - - 58 -	中部 2 - - 9 - - 9	関西 0 - - 0 - -	中国 0 - -	四国 0 - - 0 -	九州 i 6 43 51	沖縄 0 - 0 - 0 - 0		シナリオ 1-1 シナリオ 1-2	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃	全国 52 - 481 - 537	北海道 13 - - 196 - - 220	東北	東京 0 - 19 - - 22	北陸 5 - - 85 - - 90	中部 2 - - 10 - 10 -	関西 0 - - 0	中国 0 - 0 - 0 - 0	四国 0 - 0 - 0 - 0	九州 8 - - 53 -	沖縄 0 - 0 - 0 - 0
		○ シナリオ 1-1 シナリオ 1-2	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 53~120℃	全国 51 355 408	北海道 17 - 140 - 164	東北 20 - - 89 - - 103	東京 0 - 19 - - 22	北陸 6 - - 55 - - 58	中部 2 - - 9 - - 9	関西 0 - 0 - 0 - 0 -	中国 0 - 0 - 0 - 0	四国 0 - - 0 -	九州 ; 6 — — 43 — — 51 — —	沖縄 0 0 0 0		シナリオ 1-1 シナリオ 1-2	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上	全国 52 - 481 - - 537 -	北海道 13 196 - 220	東北 24 - 118 - 130 -	東京 0 - 19 - - 22 -	北陸 5 85 - 90	中部 2 - 10 - 10 - 10 -	関西 0 - - 0	中国 0 - - 0 - - 0 -	四国 0 - 0 - 0 - 0 - 1	九州 8 - - 53 - - 64 -	神縄 0 - 0 - 0 - 0
		シナリオ 1−1シナリオ 1−2シナリオ 1−3	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 53~120℃	全国 51 355 408 	北海道 17 - - 140 - - 164	東北 20 - 89 - 103 - 111	東京 0 - 19 - - 22 -	北陸 6 - - 55 - - - 58 - - 61	中部 2 - - 9 - - 9 - - 11	関西 0 - 0 - 0 - 0 -	中国 0 - 0 - 0 - 0	四国 0 - 0 - 0 - 0 - 0	九州 6 — — 43 — — 51 — — 57	沖縄 0 0 0 0 0		シナリオ 1-1 シナリオ 1-2 シナリオ 1-3	温度区分 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 150℃以上 120~150℃ 53~120℃ 53~120℃	全国 52 - 481 - 537 - 573	北海道 13 196 220 235	東北 24 118 - 130 - 138	東京 0 - 19 - - 22 - - 25	北陸 5 - - 85 - - 90 - - 92	中部 2 - 10 - 10 - 10 - 11 11 12	関西 0 - - 0	中国 0 - 0 - 0 - 0 - 0	0 - 0 - 0 - 0 0 - 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	九州 8 - - 53 - - 64 -	神縄 0 - 0 - 0 - 0 - 0









修正箇所	誤	正								
P263	(1) 傾斜掘削における可能偏距量の拡大シナリオ	(1) 傾斜掘削における可能偏距量の拡大シナリオ								
文章	150℃以上の導入ポテンシャルに対して、現在想定している可能偏距 (1.5km)	150℃以上の導入ポテンシャルに対して、現在想定している可能偏距 (1.5km)								
	を 3.0km まで拡大した場合の導入ポテンシャルの増加量の推計を行った。その集	を 3.0km まで拡大した場合の導入ポテンシャルの増加量の推計を行った。その集								
	計結果を表 6-23 および図 6-40 に示す。これによると、導入ポテンシャルは約 1.5	計結果を表 6-23 および図 6-40 に示す。これによると、導入ポテンシャルは約 1.5								
	倍 (386万kW増)、シナリオ 1-1 では約 1.2 倍 (9万kW増)、シナリオ 1-2 で									
	は約1.5 倍(168万kW増)、シナリオ1-3では約1.5 倍(193万kW増)、シナ									
	リオ 2 では約 1.5 倍 (210 万 kW 増) となり、掘削技術の向上により、導入ポテ									
	ンシャルの増加が見込めるものと考えられる。	ンシャルの増加が見込めるものと考えられる。								
P263	表 6-23 可能偏距量を 3.0km とした場合の導入ポテンシャル(150°C以上)等の変化	と 表 6-23 可能偏距量を 3.0km とした場合の導入ポテンシャル (150°C以上) 等の変化 (単位:万 k								
表 6-23	導入ポテンシナリオ別導入可能量	導入ポテン シナリオ別導入可能量								
	シャル シナリオ シナリオ シナリオ シナリオ 1-1 1-2 1-3 2	$ \begin{vmatrix} \frac{1}{2} \sqrt{3} \sqrt{3} \\ \frac{1}{2} \sqrt{3} \sqrt{3} \\ \frac{1}{2} \sqrt{3} \sqrt{3} \sqrt{3} \begin{vmatrix} \frac{1}{2} \sqrt{3} \sqrt{3} \\ \frac{1}{2} \sqrt{3} \sqrt{3} \sqrt{3} \end{vmatrix} $								
	基本 (偏距 1.5km) 636 万 kW 51 万 kW 355 万 kW 408 万 kW 446 万 kW	基本 (偏距1.5km) 636 52 481 537 573								
	偏距 3.0km の場合 1,022 万 kW 60 万 kW 523 万 kW 601 万 kW 656 万 kW	偏距3.0kmの場合 1,022 57 702 811 879 増加率 62% 10% 46% 51% 53%								
	増加率 61% 18% 47% 47% 47%	増加率 62% 10% 46% 51%								
P263	1,200	1,200 ■基本(偏距1.5km) ■参考シナリオ(偏距3.0km)								
表 6-40	1022	1,000								
	1,000 基本(偏距1.5km) 参考シナリオ(偏距3.0km) 636 523 601 656 (公 400 400 355 408 446 446 400 400 400 400 400 400 400 400	879								
	636 601 656									
	## 400 355 408 446	636								
	M 200 51 60	481 481 537								
	0	400								
	N N N N N N									
	To the tribe think think think	52 57								
	O THINKE THINKE THINKE THINKE THINKE THINKE	0								
		導入ポテンシャル シナリオ1-1 シナリオ1-2 シナリオ1-3 シナリオ2								
	図 6-40 可能偏距量を 3.0km とした場合の導入ポテンシャル等の変化	図 6-40 可能偏距量を 3.0km とした場合の導入ポテンシャル等の変化								

修正箇所				誤							Œ					
P264	①調査掘削	川に対する	補助					①調査掘削	に対する補	助						
文章	全温度区	区分に対し	て、調査掘	削費が 100	%補助され	た場合のシ	ナリオ別導入す	1 全温度区	分に対して	、調査掘削費	貴が 100%補具	助された場	合のシナリス	オ別導入可		
	能量の変化	とに関する	分析結果を	表 6-24およ	:び図 6-41 ほ	ニ示す。これ	によると、150°	能量の変化	に関する分	析結果を表	6-24 および	図 6-41 に	示す。これに	こよると、		
	以上の温度	医区分におい	ハてのみシ	ナリオ別導	入可能量が	算定された	。シナリオ 1-	1 150℃以上の)温度区分に	こおいてのみ	シナリオ別準	尊入可能量:	が算定されて	た。シナリ		
	では約3倍	· · (101 万 I	w増)、ミ	ンナリオ 1-2	2 では 39 万	kW 増、シ	ナリオ 1-3 でに	」 は オ 1-1 では <mark>タ</mark>	約 3.9 倍(<mark>1</mark>	<mark>49 万 kW</mark> 增))、シナリス	+ 1-2 では 3	89万kW增、	シナリオ		
							加となった。			加となった。						
	20 /3 K //	71 H / H C 1 &	> 1C0 SC1C	• • • • • • •	2 (10 13)	,	AH C 18 > 7C0	った。	<mark>/3 к//</mark> -> - Д	77# C - & > 7C0	S. /C. V /) A 2 CIG	× 11 /3 K ()	77 E 78 C 18		
P264	表 6-2	4 補助(調]査掘削補助)	導入時のシ	ナリオ別導力	入可能量の変	化 (万 kW)									
表 6-24			344 - 10		シナリオ別	導入可能量		\	LNEI	導入ポテン		シナリオ別	導入可能量			
	温度区分	補助	導入ポテ ンシャル	シナリオ	シナリオ	シナリオ	シナリオ	温度区分	補助	シャル	シナリオ1-1	シナリオ1-2	シナリオ1-3	シナリオ2		
		Library >	,	1-1	1-2	1-3	2		補助なし	636	52	481	537	573		
	150℃以	補助なし	636 万 kW	51 万 kW 152 万 kW	355 万 kW 394 万 kW	408 万 kW 434 万 kW	446 万 kW 459 万 kW	150℃以上	補助あり		201	520	559	584		
	上	増加率		198%	11%	6%	3%		増加率補助なし	33	287% 該当なし	8% 該当なし	4% 該当なし	2% 該当なし		
	120~	補助なし	33 万 kW	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	120∼150℃	補助なり	33	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし		
	150℃	補助あり		該当なし	該当なし	該当なし	該当なし		補助なし	751	 	該当なし	該当なし	該当なし		
	53∼ 120°C	補助なし	751 万 kW	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	53∼120℃	該当なし	該当なし						
P264	-	800 —						80	00 -							
図 6-41		700	636			補助なし		70	,,			■補助	めなし ■補助あ	IJ		
Ø 0-41		§ 600 500				浦助あり			636				₅₇₃ 584			
		数 300 基 200	51 xW	355 ³⁶	94 408 ⁴³⁴	446459		60 (W) 50 向 40 物 50 割 30 割 30 10	00	201	481 520	537 559				
	図 6-41						C以上)の変化			シャル シナリオ1 削補助)導入						

修正箇所	誤	正								
P265	②全事業費に対する補助	②全事業費に対する補助								
文章	全温度区分に対して、調査掘削費が 100%補助されるとともに、全事業費に対	全温度区分に対して、調査掘削費が100%補助されるとともに、全事業費に対								
	する 1/3 補助が導入される場合のシナリオ別導入可能量の推計結果を表 6-25 およ	する 1/3 補助が導入される場合のシナリオ別導入可能量の推計結果を表 6-25 お								
	び図 6-42 に示す。これによると、150℃以上の温度区分に対して導入可能量はシ	よび図 6-42 に示す。これによると、150℃以上の温度分に対して導入可能量はシ								
	ナリオ 1-1 では約 7.4 倍 (326 万 kW 増)、シナリオ 1-2 では約 1.3 倍 (108 万 kW	kW ナリオ 1-1 では <mark>約 9.6 倍</mark> (<mark>449 万 kW</mark> 増)、シナリオ 1-2 では <mark>約 1.2 倍</mark> (<mark>106 万</mark>								
	増)、シナリオ 1-3 では約 1.2 倍(65 万 kW 増)となった。また、シナリオ 2 で									
	は約 1.08 倍 (34 万 kW 増) となった。53~120℃および120~150℃の温度区分に									
	関しては、補助を想定しても導入可能量は表出しなかった。	関しては、補助を想定しても導入可能量は表出しなかった。								
P265	表 6-25 補助(全事業費補助)導入時のシナリオ別導入可能量の変化(万 kW)	表 6-25 補助(全事業費補助)導入時のシナリオ別導入可能量の変化(単位:万kW)								
表 6-25	温度区分 補助 導入ポテ シナリオ シナリオ シナリオ シナリオ	選度区分 補助								
		補助なし 636 52 481 537 573								
	#助なし 636万kW 51万kW 355万kW 408万kW 446万kW 150℃以 45円より 150℃以 450℃以	150℃以上 補助あり 501 587 601 610								
	補助あり 377万kW 463万kW 473万kW 480万kW 上 増加率 639% 30% 16% 8%	増加率 865% 22% 12% 6%								
	120~ 補助なし 33万 kW 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし	120~150℃ 補助なし 33 該当なし 120~150℃								
	150℃ 補助あり 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 53~ 補助なし 751万kW 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし	in i								
	120℃ 補助あり 該当なし 該当なし 該当なし 該当なし									
P265	800	800 ■補助なし ■補助あり								
図 6-42	■補助なし 700 636 ■補助あり	700 636								
	\$ 600 \$ 500 \$ 463 \$ 473 \$ 446 ⁴⁸⁰	587 601 573 610 537								
	5 500 408 408	§ 500 501 481								
	600 463 473 446 ⁴⁸⁰ 400 400 400 400 400 400 400 400 400 4	501 481 F 400								
	200	数 300								
	100 51	選 300								
	0	200								
	ALLINAN THIRTY THIRTY THIRTY THIRTY	100 52								
		0 								
	図 6-42 補助(全事業費補助)導入時のシナリオ別導入可能量(150℃以上)の変化	図 6-42 補助(全事業費補助)導入時のシナリオ別導入可能量(150℃以上)の変化								

修正箇所					誤										正							
P268	6.7	也熱	発電の賦存	量および導	享入ポテンシ	ヤル(ま	とめ)				6.7	地索	热発電の賦 る	字量および	導入ポテン	シャル(ま	ミとめ)					
文章	地素	热発電	電の賦存量:	および導入	、ポテンシャ	ルのまと	めを表 <i>6</i>	5-28 およ	び図 6-4	5 に	土	也熱発	電の賦存量	はおよび導	入ポテンシャ	ャルのま	とめを表	6-28およ	にび図 6-45 に			
	示す。	熱水	資源開発の)賦存量は	温度区分 150	℃以上で	は2,360	万 kW、12	20°C∼15	50°C	示す	广。熱	小資源開発	め賦存量	は温度区分	150℃以_	上では 2,	,360 万 1	xW、120℃~			
	では1	108 7	5 kW、53~	-120°Cでは	は849 万 kW	であり、	合計する	と、地熱	!発電全	体の	150°	℃でI	は108 万 kV	V、53∼12	0℃では849	万 kW て	であり、台	計する。	と、地熱発電			
	賦存量	まは 3	3,310 万 kV	Vと推計さ	れた。熱水資	資源開発	の導入ボ	プテンシャ	ルは温点	度区	全体	本の賦	存量は3,3	10万kWと	と推計された	.。熱水資	資源開発0	り導入ポ	テンシャルは			
	分 150)°CIJ	人上では 630	5万kW、1	20°C∼150°C	では33	万 kW、5	53∼120°C	では75	1万	温度	医区分	- 150℃以上	では 636	万 kW、120°	C~150°C	こでは 33	万 kW、	53~120°Cで			
	kW で	あり	、合計する	ると、賦存	量の約 43%	こあたる	1,420 万	kW と推	(計され)	た。	は 751 万 kW であり、合計すると、賦存量の約 43%にあたる 1,420 万 kW と推											
	シナリ	シナリオ別導入可能量は、シナリオ 1-1~1-3 では 108 万~476 万 kW、シェ																				
	2では	2 では 518 万 kW となった。											- 2 では <mark>645</mark>									
P268	_	表 6-28 地熱発電の賦存量および導入ポテンシャルのまとめ											表 6-28		賦存量およ							
表 6-28		区分	温度区分	賦存量 (万 kW)	導入ポテンシ ャル(万kW)	シナ シナリオ 1-1	- リオ別導入 シナリオ 1-2	可能量(万 k シナリオ 1-3	W) シナリオ 2	-		区分	温度区分	賦存量 (万 kW)	導入ポテンシ ャル (万 kW)	シナリオ 1-1	ナリオ別導入 シナリオ 1-2	可能量 (万 l シナリオ 1-3	なW) シナリオ 2			
		埶	150℃以上	2, 357	636	51	355	408	446			熱	150℃以上	2, 357	636	52	481	537	573			
		熱水資源開発	120∼150°C	108	33	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし			水資源開	120∼150℃	108	33	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし			
		源開	53∼120℃	849	751	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし			開発	53∼120℃	849	751	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし			
		, ,	小計	3, 314	1, 420	51	355	408	446	-	-		小計	3, 314	1, 420	52 57		537	573 72			
		温	泉発電*	(72)	(72) 1, 420	57 108	68 423	68 476	72 518	-	-	łím	合計	3, 314	1, 420	109		605	645			
	L		3,500	0,014	1, 120	100	120	410	7	<u> </u>	<u> </u>		3,500									
P268			3,000				■150°C以上 - ■120°C~15						3,000				■150°C以					
図 6-45			2,500				_ _ ≡53~120°C						2,500				=53~120°					
		(KW)	2,000				■温泉 - ■合計						2,000				■温泉 ──■合計					
		金	1,500	.	_								中 中 1,500		_							
		1,000											1,000									
		500											500									
		0											0									
		賦存量 導入ポテンシャ シナリオ別導入可能量(万kW)											賦有	量 導入ポテン	シナリオ1-1	シナリオ別導.	│ シナリオ1-3 入可能量(万kW	シナリオ2 ')				
		(万kW) ル量 (万kW)											(万k)	W) ル量 (万kW								
			図 6-45	地熱発電の)賦存量および	導入ポテ	ンシャル	のまとめ					図 6-45	地熱発電	の賦存量およ	び導入ポー	テンシャル	のまとめ				

修正箇所					誤				正													
P282	表 8-	-1 各種再	生可能工	ネルギー	の賦存量・	導入ポテン	シャル・シナ	リオ別導入	表 8	-1 各種再	生可能工	ネルギー	の賦存量・	導入ポテン	シャル・シナ	リオ別導入						
表 8-1		可能量	(設備容	量:万 kV	V)				可能量(設備容量:万 kW)													
	エネルキ* -	小区分	賦存量	導入ポテンシャル	ジナリオ別導 基本ジナリオ 1 (FIT 対応ジナリオ)	入可能量 基本シナリオ 2 (FIT+技術革新ナリオ)	補助シナリオに基づ 補助シナリオ 1 (基本シナリオ 1+補助金)	びく導入可能量 補助シナリオ 2 (基本シナリオ 2+補助金)	I 7.04°	小区分	賦存量	導入ポテンシャル	ジナリオ別導 基本ジナリオ 1 (FIT 対応ジナリオ)	算入可能量 基本シナリオ2 (FIT+技術革新ンリオ)	補助シナリオに基へ 補助シナリオ 1 (基本シナリオ 1+補助金)	がく導入可能量 補助シナリオ 2 (基本シナリオ 2+補助金)						
		熱水資源開発 150℃以上	2, 357	636	51~408	446	152~434	459		熱水資源開発 150℃以上	2, 357	636	52~537	573	201~559	584						
	地熱	120∼150°C	108	33	0	0	0	0	地熱	120∼150℃	108	33	0	0	0	0						
	発電	53∼120°C	849	751	0	0	0	0	発電	53∼120℃	849	751	0	0	0	0						
		温泉発電	(72)	(72)	57~68	72	72			温泉発電	(72)	(72)	57~68	72								
		小計	3, 314	1,420	108~476	518	$152\sim434$	459		小計	3, 314	1, 420	109~605	645	201~559	584						